

「安かれ。」

イザヤ書 第9章 6節～7節
ヨハネによる福音書 第20章 19節～23節

説教 岡村 恒牧師

「イエスはまた彼らに言われた、『安かれ。』。復活なされた主イエス・キリストが弟子たちに言われた最初の言葉です。私たちが礼拝をしている日曜日の夕方の出来事です。

説教題の《安かれ。》に「。」をつけました。19節、20節、26節の3箇所にてでくる「安かれ」には、他の翻訳では一つの文書としてピリオドや《!》マークがついています。これは、元々一つの簡潔した宣言だったからです。

この言葉を聞いた弟子たちは、平安とは無縁な状態にいました。主イエスは十字架で死んで墓に葬られました。悲しみの夜が過ぎ、主イエスの死という現実が重くのしかかってきました。ところが日曜の朝早く、マリヤたちが墓に行ったところ、主のご遺体はありませんでした。そしてマリヤたちは、復活された主イエスにお会いして、お言葉を聞いたと言うのです。エルサレムには弟子たちが主イエスの遺体を盗み去ったといううわさが流れる中、弟子たちはユダヤ人を恐れて戸を閉め、不安と恐れの中にいました。復活の知らせを聞きながら、心の戸を固く閉ざしていたのです。

この日の夕方、主イエスは、閉め切られた部屋に突然入って来られました。主イエスの第一声は、「安かれ」でした。この言葉は、ただの挨拶の言葉とは決定的に違う力を持っていました。死も、主イエスを滅ぼすことはできませんでした。手に釘の跡、わき腹には槍の傷跡がありましたが、このお体を持ちながら、主イエスは閉ざされた部屋に入ることができました。主イエスは、復活の体、栄光の体を持っておいでになったのです。そこで、どうしても弟子たちに聞かすべき言葉を口にされました。この一言を聞くと、世界が全く変わってしまったことを弟子たちは知ったのです。この一言で、私たちの人生も根底から変わってしまう、そういう宣言です。

主イエス・キリストは「安かれ。」という言葉私たちに聞かせるために、死から復活されました。何か他の言葉ではなくて、「安かれ」と主イエスは言われたのです。主イエスが一体何のために神のみ元を離れて人となり、神の国を宣べ伝え、神の国の力をお見せになり、十字架に架かって死んで下さったのか。死から引き上げられて弟子たちの前に現れて下さったのか、この一言が言い表しています。

弟子たちを、恐れと不安、絶望から解放する一言を、主イエスは口にされました。私たちの罪の赦しのために、ご自身を犠牲として十字架の上で与え尽くして下さった主イエスが、私たちのただ中に入って来て、この一言を言われるのです。そして神との平和を手にした者に、新しい人生をお与え下さいます。「『安かれ。父がわたしをおつかわしになったように、わたしもまたあなたがたをおつかわす』。そう言って、彼らに息を吹きかけて仰せになった、『聖霊を受けよ。…』」(21節～22節)

創世記を見ると、土のちりから造られた人に、神は息を吹き入れて「生きる者」とされました。(創世記 2章7節)やがて聖霊を受ける弟子たちに、あらかじめ息を吹きかけて、主イエスが弟子たちに命をお与えになるお方であることをお示しになりました。

主イエスが、私たちに本当の平安を与え、永遠の命を持って生きる者となるようにと語りかけ、息を吹きかけて下さるお方であることを、私たちは礼拝のたびに確かめます。「安かれ。」というこの一言を聞くと、私たちの人生は完結します。8日目、どうしても信じることができないトマスのために、主イエスは再び弟子たちの所においてになり、「安かれ」と宣言されました。トマスのような私たちが、見ないで信じる幸いに招き入れられるためでした。

主イエスは、何よりもまず「安かれ」、『あなたに神の平和があるように』と宣言して下さいました。トマスのために来て下さり、「安かれ」と宣言して下さいました主イエスが、私たちのためにも今朝、宣言して下さいます。私たちが土のちりからお造りになった神は、私たちに新しく息を吹き入れて生きる者として造り変えて下さいます。誰でも主イエスを信じ、キリストへの信仰を告白するなら、聖霊を受けて新しく生きるようになるのです。

今日、全世界のキリスト者が、眠りについた兄弟姉妹を記念します。墓の前に立って、そこが復活の栄光に輝く場所になることを確認します。そして、やがて終わりの日、私たち自身も彼らと共に神の前に立つことになる日を待ち望みます。墓を空にして下さった主イエス・キリストは、神との平和を実現し、私たちに「安かれ」と宣言して下さいています。

(記 岡村 恒)